

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)									
事業名	交通モード多様化事業推進に必要な経費			担当部局庁	沖縄振興局				
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	参事官(振興第三担当) 中島 靖				
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針(平成24年5月 内閣総理大臣決定) 沖縄振興計画(平成24年5月 沖縄県) 沖縄観光ステップアップ戦略2017(平成29年5月 内閣府)				
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄本島北部や離島への交通モードの多様化(高速船、小型飛行機等)を実現することにより、沖縄観光の魅力を高め、観光客数・観光収入の底上げに取り組む一環として、民間交通事業者における交通モードの多様化を促すための実証実験の枠組み検討や、その結果の検討等を行うことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)実証実験の枠組みの検討 実証実験実施に向けた課題(施設改良の必要性、機材の調達、各種法令手続き、関係者調整、乗客募集方法、料金設定等)を整理し、実証実験の枠組みを検討する。 (2)実証実験の結果の検討 実証実験の結果や本格運営に向けての課題(事業性、観光振興への寄与度、回遊性向上への寄与度等)を検討する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
		当初予算	-	-	-	50			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	0	0	0	50			
	執行額								
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-			
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	沖縄振興開発調査委託費	0	50	「新しい日本のための優先課題推進枠」50					
	その他	0	0						
	計	0	50						
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			-					
	民間交通事業者における交通モードの多様化を促すための実証実験の枠組み検討や、その結果の検討等を行うことを目的としているため。								
	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	民間交通事業者における交通モードの多様化を促すための実証実験の枠組み検討や、その結果の検討等	調査の実施及びとりまとめ報告書の件数	実績	調査一式					
			目標値	調査一式					1
			達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
	調査の実施	活動実績	調査一式						
		当初見込み	調査一式					1	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	「やんばる国立公園」の指定(H28.9)や世界遺産登録に向けた動きなど、「海洋博記念公園基本計画」の改訂(H29.3)、本部港及び平良港の「官民連携による国際クルーズ拠点を形成する港湾」選定(H29.1)等、沖縄本島北部地域や離島の観光に係る取組が活発化しており、これらの地域への交通モードを多様化するニーズは高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本取組は内閣府が取り組む沖縄観光振興施策をまとめた「沖縄観光ステップアップ戦略2017」(平成29年5月 内閣府)の重点化アクションに位置付けられており、国が実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本取組は内閣府が取り組む沖縄観光振興施策をまとめた「沖縄観光ステップアップ戦略2017」(平成29年5月 内閣府)の重点化アクションに位置付けられており、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

